

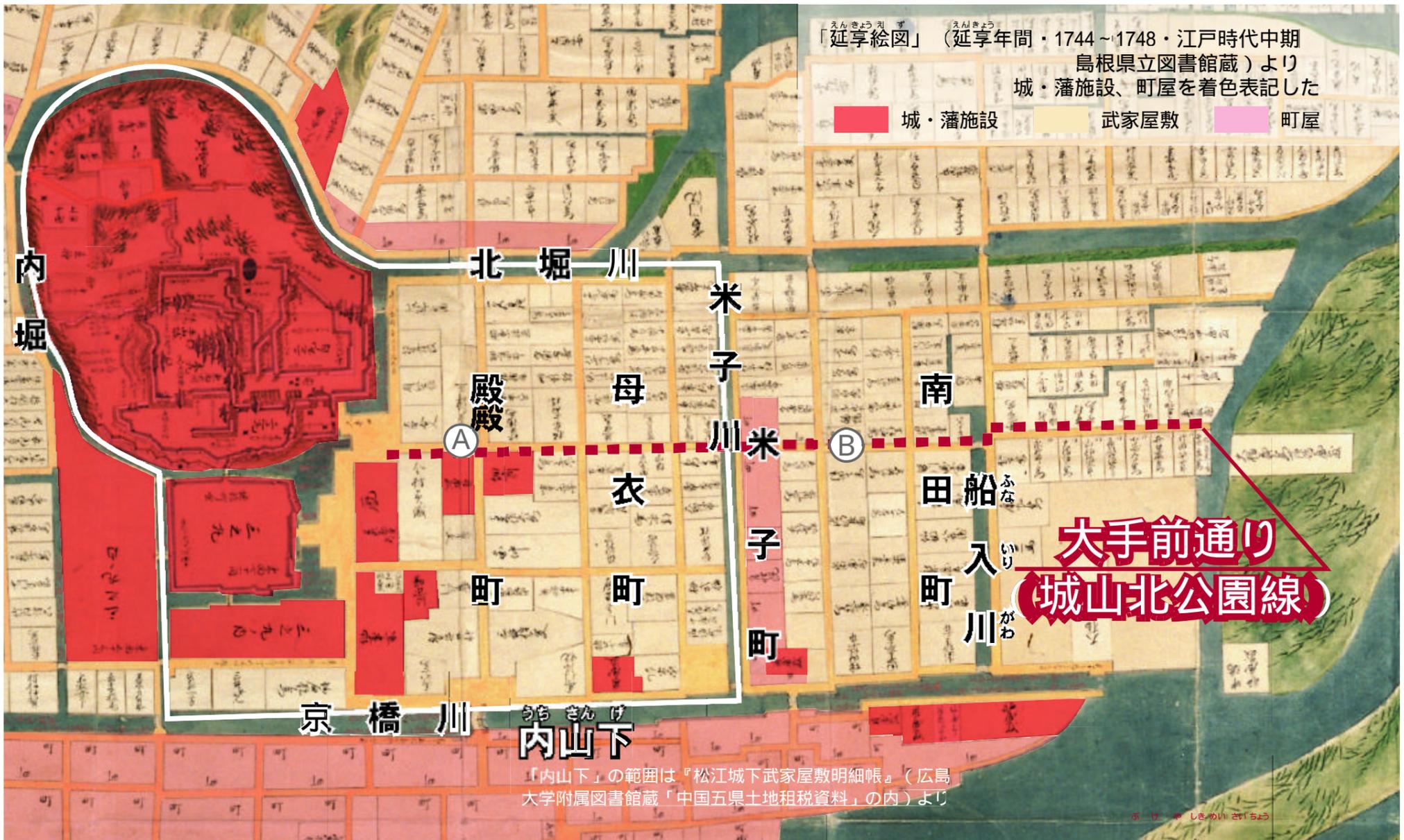
武家屋敷が建ち並んでいた 大手前通り周辺

江戸時代

殿町と母衣町は「内山下」と呼ばれ、上級藩士の住む武家屋敷が建ち並んでいました。また、南田町にも武家屋敷がありました。米子町は町屋で、米子から移り住んできた人々が住んでいたと言われています。



明治時代の南田町の武家屋敷（松江郷土館蔵）



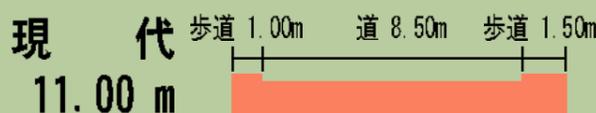
江戸時代の道幅を残す 殿町・母衣町

① 殿町：現県民会館北側付近



道幅が
変わっていない

② 南田町：現新大橋通り東側付近



道幅が
拡幅されている

「武家屋敷明細帳」に
道幅が記載されています。

